

案件概要表

| I. 提案事業の概要 | |
|-------------------------|---|
| 1. 対象国名 | フィリピン国 |
| 2. 案件名 | フィリピン国アブラ州ペニアルビア市周辺集落に於ける農産物の生産コスト削減プロジェクト |
| 3. 事業の背景と必要性 | フィリピン政府は、農業生産性の向上を目指して、1997年に農業近代化法を制定し、各種政策を実施してきた。しかし十分な生産性の確保には至っておらず、また、生産から消費に至るまでの多岐に渡る課題が、農産品の国際競争力の低下や農業従事者の負担増・利益減の状況を引き起こしている。フィリピンにおいて、農業は農村地域における経済の中核を担っており、就労人口の約3割を占める農業従事者の多くは貧困ライン以下でもあることから、農業生産性の向上及び農産品の高付加価値化を通じて、農業従事者の所得向上・安定を図ることが喫緊の課題となっている。本事業では農村地域の農業従事者の収入の安定のために農業生産コストの削減を目指すものであり、当該国の農業センターの課題解決に貢献するものである。 |
| 4. プロジェクト目標 | 農業従事者の農業生産コストが削減される。 |
| 5. 対象地域 | アブラ州ペニアルビア市周辺 |
| 6. 受益者層 (ターゲットグループ) | 農業従事者 20 人、アブラ州生活協同組合 (Abra Diocesan Teachers and Employees Multi-Purpose Cooperative 以下「ADTEMPCO」) 農業指導者 5 人 |
| 7. 生み出すべきアウト プット及び活動 | <p>成果 1 : TOT 研修を通じて ADTEMPCO 農業指導者 (TOT 講師) に知識と技術が移転される。</p> <p>1 - 1 NPO はちが TOT 研修内容の決定と資料作りを行う (日本語)。</p> <p>1 - 2 NPO はちが TOT 資料の翻訳する (日本語→英語)。</p> <p>1 - 3 日本人専門家が TOT 研修を開催する (オンラインとフィリピン)。</p> <p>成果 2 : 研修参加者が種の自家採集方法を身に付ける。</p> <p>2 - 1 日本人専門家が研修参加希望者の面談を行い研修参加者を決定する。</p> <p>2 - 2 日本人専門家が研修参加者の農業の状況をアンケート調査により把握する。</p> <p>2 - 3 日本人専門家が研修参加者の栽培希望作物のヒアリングを行う。</p> <p>2 - 4 TOT 講師と日本人専門家が研修参加者に種の自家採集方法の研修を行う。</p> <p>2 - 5 TOT 講師が研修参加者の種の採集状況のモニタリングを行う。</p> <p>2 - 6 日本人専門家が研修参加者の質問に回答するプラットフォーム (種) を SNS 上に作成する。</p> <p>成果 3 : 研修参加者が堆肥、育苗土、苗づくりの技術を身に付ける。</p> <p>3 - 1 TOT 講師と日本人専門家が研修参加者に堆肥、育苗土、苗づくりの研修を行う。</p> <p>3 - 2 TOT 講師が研修参加者の堆肥作りの状況を確認する。</p> <p>3 - 3 TOT 講師が研修参加者の育苗土の状況を確認する。</p> <p>3 - 4 TOT 講師が研修参加者の苗の育成状況を確認する。</p> <p>3 - 5 TOT 講師が研修参加者の苗の定植状況を確認する。</p> <p>3 - 6 日本人専門家が研修参加者の質問に回答するプラットフォーム (堆肥) を SNS 上に作成する。</p> <p>3 - 7 日本人専門家が研修参加者の中から意欲の高い参加者を選抜し、訪日研修を実施する。</p> |
| 8. 実施期間 | 2022 年 8 月～2025 年 4 月 (計 2 年 8 ヶ月) |
| 9. 事業費概算額 | 9,999,000 円 |
| 10. 現地カウンター パート | アブラ州生活協同組合 (「ADTEMPCO」) |
| II. 実施団体の概要 | |
| 1. 提案地方公共団体名 / 団体名 | NPO 法人はち |
| 2. 活動内容 | 市民に対し自然環境や環境と調和したライフスタイルに広く触れる機会を提供し、環境への理解を促すとともに、人と自然の持続可能な社会の創造に寄与することを目的として、自然環境の現状を社会の問題としてではなく、個人個人の問題としてより身近に感じてもらえるよう環境保護を観点とした活動を行っている。 |